

学校給食システム選定評価シート 選定審査評価項目

所属: _____ 名前: _____ 作成日: 令和6年6月 日

審査する委員	審査対象	審査項目	作成(実施)における注意点	審査ポイント
選定委員	1	提案事項を実施するにあたっての取組方針	1 本市の情報化並びに新給食システムに関する課題と取組みを理解したうえで、提案全体の考え方を示すこと。	・調達仕様書の内容や本市の方針を理解したうえで提案しているか ・本市が抱える課題を解決できる提案となっているか
			2 各自治体の教育委員会・学校給食における、システムや発注システムの状況、アレルギー等の対応状況及び課題等を踏まえ、本市の構想としての方向性や目指すべき姿を提案すること。	・教育委員会及び小中学校の置かれている状況をどれだけ理解しているか
			3 学校給食に係る担当職員の負荷(システム利用の慣熟に至るまでの一時的負荷を含む)に対して、対応方針を記載すること。	・担当職員に対するフォローをどのように考えているか ・担当職員は教育委員会、学校栄養教諭等多岐にわたることを認識しているか ・システムの導入が担当職員の負担軽減に資するか
	2	業務の実施における重要ポイント	1 システム構築(設計やテスト、移行等)に関するスケジュールを、工程ごとに具体的に示すこと。	・必要な各作業項目を含め、構築全体スケジュールが提示されているか ・リスクがあるポイントが明確になっており、その対応策が現実的なものとなっているか
			2 システム構築(設計やテスト、移行等)やシステム運用保守で実施する作業において、担当職員の負荷を軽減するための手法や施策、提案業者との役割分担を示すこと。	・システムの構築や運用・保守の各作業において、提案業者と担当職員の役割分担が明確になっており、担当職員の負担を軽減するために有効な手法が示されているか
			3 システム構築のプロジェクトにおいて、スケジュール遵守や品質を担保するための有効なプロジェクト管理施策を、「新給食システム構築・運用保守業務に関する調達仕様書/7 役務要件/(2) プロジェクト管理方法」に示す要件を踏まえて提案すること。	・プロジェクトを円滑に進めるための工夫や有効なスケジュールの管理手法が示されているか ・工程完了判定会議の実施等、品質を担保するための施策が示されているか
			4 本業務の納品物を、「新給食システム構築・運用保守業務に関する調達仕様書/8 納品物」に示す要件を踏まえて提案すること。	・調達仕様書に示す納品物を納める提案になっているか ・調達仕様書に示す納品物との差異がある場合でも、同等の納品物を納めることが示されているか ・納品物が、スケジュールや調達要件の提案と整合しているか
			5 本業務における具体的な保守作業や運用フェーズにおけるサポート内容を、「新給食システム構築・運用保守業務に関する調達仕様書」に示す要件を踏まえて提案すること。	・調達仕様書に示す保守作業を実施する提案になっているか ・調達仕様書に示す保守作業との差異がある場合でも、同等の稼働状況を保障するようになっていないか ・担当職員の負担を軽減するために有効なサポート内容が示されているか
	3	調達要件	「新給食システム構築・運用保守業務に関する調達仕様書/6 システム要件」に記載の各要件の実現方法を示すこと。	・調達仕様書に示す、各調達要件に対する実現方法が提案されているか ・調達仕様書で求めている要件以上の提案が示されているか
			1 「(3)連携要件」の具体的な実現方法を示すこと。	※機器、製品又はリソースの提案については、採用するための適切な根拠が示されているか ※外部のクラウドサービスを使う提案となっている場合、セキュリティや利便性に配慮されているか
			2 「(4)データ移行要件」の具体的な実現方法を示すこと。全てのデータの移行が困難な場合、移行可能なデータの範囲と移行できないデータの保存方法を提示すること。	
			3 「(9)非機能要件/①性能要件」の具体的な実現方法を示すこと。	
	4	体制及び実績	1 本業務の実施体制として、人員配置、業務管理体制(品質管理、進捗管理、問題把握等)等を示すこと。	・本プロジェクト実行に必要な充分な要員配置、管理体制となっているか
			2 プロジェクト人員の類似業務実績を示すこと。プロジェクト人員については、具体的な担当者名を示すこと。	・リーダーは、本市以外に同規模自治体における十分な実績が存在するか ・本業務を進めるうえで十分な人数の体制となっているか ・プロジェクト人員が有効な資格を保有しているか
			3 他自治体における給食システムと類似したシステム構築・保守業務の類似実績を示すこと。	・本市と同規模以上の自治体での類似業務の導入実績(規模・実績件数)が複数あるか ※様式5「類似業務実績調査」と合わせて評価する

学校給食システム選定評価シート 選定審査評価項目

所属: _____ 名前: _____ 作成日: 令和6年6月 日

審査する委員	審査対象	審査項目	作成(実施)における注意点	審査ポイント
	5	追加提案等	1 調達仕様書 10 その他の提案を求める要件 (1)中学校給食の全員喫食への移行に関する追加提案について理解し追加で提案はあるか。また、追加提案で提案の内容は十分かつ必要な提案か。	・追加提案は、本市にとって有益な内容となっているか ・追加提案は、追加費用等の条件なく実施されるか
			2 調達仕様書 10 その他の提案を求める要件 (2)AI技術による献立作成に関する追加提案について理解し追加で提案はあるか。また、追加提案で提案の内容は十分かつ必要な提案か。	・追加提案は、本市にとって有益な内容となっているか ・追加提案は、追加費用等の条件なく実施されるか
			3 調達仕様書 10 その他の提案を求める要件 (3)アレルギー対応に関する保護者発信追加提案について理解し追加で提案はあるか。また、追加提案で提案の内容は十分かつ必要な提案か。	・追加提案は、本市にとって有益な内容となっているか ・追加提案は、追加費用等の条件なく実施されるか
			4 調達仕様書 10 その他の提案を求める要件 (4)発注業務に関する追加提案について理解し追加で提案はあるか。また、追加提案で提案の内容は十分かつ必要な提案か。	・追加提案は、本市にとって有益な内容となっているか ・追加提案は、追加費用等の条件なく実施されるか
		小計		
事務局で自動採点		システム機能要件及び帳票要件の適合性	別紙1「吹田市新給食システム機能要件・帳票要件一覧」に記載された機能・帳票について、提案するパッケージとの適合性を示すこと。	本市が定義する方法による
		システム機能要件及び帳票要件の適合性	別紙2「吹田市新給食システム出力物要件」に記載された機能・帳票について、提案するパッケージとの適合性を示すこと。	本市が定義する方法による
		見積金額1	本業務を遂行するうえで必要となる全ての費用(システム開発費用及び保守運用費用等)の明細を記載すること。システム開発に関する費用に加え、契約締結から令和11年3月31日までの運用保守費用も含めること。	本市が定義する方法による
		見積金額2	本業務の契約が満了する令和11年3月31日以降、令和16年3月31日まで利用を継続するために必要となる全ての費用(必要なシステム更新・開発等費用及び保守運用費用等)を参考として示すこと。	本市が定義する方法による

学校給食システム選定評価シート 選定審査評価項目

所属: _____ 名前: _____ 作成日: 令和6年6月 日

審査する 委員	審査 対象	審査項目	作成(実施)における注意点	審査ポイント
選定委員	プレゼンテーション・意見 交換		提案書の内容について、プレゼンテーションを実施すること。	下記の視点でそれぞれ採点する。 ・熱意・積極性・意欲
				・プレゼン資料の分かりやすさ・見やすさ
				・プレゼン内容の的確さ(提案書との整合性)
				・説明の分かりやすさ・聞きやすさ
				・タイムマネジメント
				・質問への回答の的確さ、分かりやすさ
				・全体の印象
小計				
合計				

【評価配点凡例】

- A: 本市が求める要件を十分満たし、また、本市にとって有効な提案者独自の追加提案もあり、非常に優れた提案である
- B: 本市が求める要件を十分満たし、優れた提案である (=A×3/4)
- C: 本市が求める要件を一定満たした提案である (=A×2/4)
- D: 本市が求める要件を一部しか満たしていない、低い水準の提案である (=A×1/4)
- E: 本市が求める要件の大半を満たしていない、非常に低い水準の提案である(提案がない場合を含む) (=A×0/4)